

「1 学期終業式式辞に代えて」

大変暑い日々が続いていますが、7月は台風11号が上陸したため、終業式が中止になりました。そこで終業式でお話したかったことをここにお伝えします。

この4ヶ月間で皆さんは多くの経験を積まれたと思います。4月の始業式で皆さんに、「継続する力」と「挑戦する力」をさらに磨き、継続可能な社会の担い手として自らの未来を作っていくって欲しいと言いましたが、少しは「継続する力」「挑戦する力」が付いたでしょうか。

さて今年に通学区域が拡大した初めての年です。そこで、皆さんの出身中学を訪問し、いろいろなお話を伺いました。その中で本校のイメージについて、「エレガントなイメージ」と言われました。

「エレガントなイメージ」とはどのようなものでしょうか。「エレガント」とは「落ち着いて気品のあるさま」「優雅さ」「優美さ」と言われます。

見た目の容姿端麗だけが「エレガント」なのでしょうか。立ち居振る舞いや見た目の服装、言葉遣い等もその中に入ります。ただそれだけではなく、普段の行いの中から自然と醸し出される雰囲気「エレガント」で、その場にふさわしい行動が出来ることが、中学生や地域の方たちに伝わっているのだと思います。

しかし実際の一人一人はどうでしょう？

毎日宿題の多さに苦しみ、テストでうまく点が取れたと喜び、部活動の試合で負けて悔しいと泣き、文化祭で模擬店を楽しむ。まさに「星瞬」を生きている、どこにでもいる高校生だと思います。

では他校生と何が違うのか、何が「エレガント」なのか。

私が高校時代に、エレガントと思う女性がいました。





彼女は部活動や学校行事にも率先して参加し、いつ勉強するのかと思うほど充実して忙しく活動しているのに、勉強は常にトップクラス。しかもいつもにこやかで、周りを引きつけていました。

宿題は完璧でしたから、自宅で学習していたはずですが、しかしそれをひけらかすことがなく、よくノートを写させてもらいました！

また皆がスムーズに動けるよう、常に他者に対して気遣いを持っていました。

私はこういう人を「エレガントな人」と言うのだと思います

皆さんにとって、北須磨高校生としての3年間は、厳しくつらいものだと思います。しかし、人生においてある時期、死に物狂いで勉強をし、部活動に打ち込み、自分がしたいこともしたくないことも必死に取り組む。しかも「エレガント」であるには、軽やかに余裕を持って取り組み、周りにそれを感じさせないことが必要です。

もちろんゆとりのある姿勢を続けることと、手を抜くことは異なります。どんな場面においても全力で対応しながらも余裕を持ち、協働して物事に対処しながら周りの人に対しての気遣いを忘れない。この姿勢を「継続する力」こそ、本校が「エレガント」と評価される理由だと思います。

そしてこの「エレガント」さこそが、次の試練を乗り越えさせてくれる原動力になっていると確信しています。

夏期休業中は、自分で時間をコントロールしなければなりません。ぜひ健康にも注意しながら、「エレガントな北須磨生」で過ごしてください。そして「挑戦する力」で新しいことにも挑んで下さい。2学期の始業式に、元気な皆さんとお会いすることを楽しみにしています。